



キャッサバ畑



織機の技術を学んでいます



パラワンの農家

## 循環型農業支援プロジェクト

### フィリピンのパラワン島で、キャッサバの葉を再利用した循環型農業を支援しています。

フィリピンは7,109の島々から成り立っています。私たちはその島の一つ、マレーシア北部に近い細長い島、パラワン島の首府プエルト・プリンセサ市で、パートナーNPO法人2050とともに、今まで使われていなかったキャッサバの葉を有効利用した循環型農業の定着を目指して取り組んでいます。

#### 循環型農業のキーとなる「キャッサバの葉」

キャッサバの根は「タピオカ」として私たちにも馴染み深いものです。地元でも従来から食糧として消費されていましたが、葉は捨てられていました。この葉をエサとするエリ蚕を養蚕し、その排泄物は全て堆肥として再利用。さなぎは現地の人たちの食用や家畜の飼料となり、繭は絹織物などの工業品として販売することで収入をもたらし、次の養蚕につなげて行く - このような循環が定着することにより、自然を生かした地域の持続的な発展が実現することを私たちは期待しています。

#### 2003年度の活動と2004年度の計画

2003年度は繭を加工するプロセスを支援するため、糸紡ぎ機や織り機を寄贈し、それらの機材を利用して糸紡ぎ・織り物・編み物の技術指導を現地の人たちに教えるトレーナーに対し、エリ蚕養蚕についての知識や技術を学ぶ講習会を開催しました。2004年度は、養蚕技術に関する人材育成への支援を継続し、村の人たちへのエリ蚕飼育や糸紡ぎを中心とする初歩的な技術指導支援を行います。

